

亀岡砥石で研ぎ挑戦

亀岡市特産の砥石とじや薬草「チヨロギ」などを紹介する展示・体験施設「森のステーションかめおか」が22日、宮前町の市交流会館内にオープンした。23日までの2日間、記念イベントがあり、大勢の親子らが研ぎや薬草による茶作りの体験を楽しんだ。

親子ら
薬草茶作りも楽しむ



特産品をまちづくりに生かすため、市が開設した。来場者は、市内で採掘された天然砥石を使い、家庭から持参した包丁の研ぎに挑戦した。角度や力加減を工夫しながら、鋭い切れ味に仕上げた。

砥石で磨いたかんなでヒノキやかつお節を削る体験もあり、青野小2年の船坂蒼空さん(8)は「かつお節を薄く削るのが楽しかった」と喜んでた。

チヨロギは、認知症予防に効果的といい、原料にしたあめやどら焼きといった加工品が並んだ。宮前町で栽培されたドクタミやオオバコなどの薬草を用いた茶作りコーナーも盛況だった。

当面は土・日曜のみ運営し、天然砥石の展示やチヨロギ製品の販売などを行う。
(森大樹)

亀岡市内で採掘された天然砥石を使い、包丁研ぎに挑戦する来場者(亀岡市宮前町)